

大学の教育研究上の目的

有明教育芸術短期大学は、幼児教育及び芸術教育に関する二つの分野を教育研究の対象とするとともに、両者の新しい相補的關係を構築します。そのことによって豊かな人間性と国際社会に即応できる独創性を備えた教育者・芸術家を育成し、世界の人々の生活の充実と教育や芸術の発展に寄与することを目的としています。

また本学は、人類の教育と芸術という二つの遺産を尊重し、わが国や外国の教育や芸術を育んだ知と技の伝統に学びながら、教育や芸術が地球上の人間の生活に関わる実際とその理想の姿を探求することを使命としています。

有明教育芸術短期大学は、子ども教育及び芸術教養の二つの分野を教育研究の対象とし、人々とのふれあいを通じて生活の向上を支援する人材の養成を図ろうとするものです。まず、子ども教育については、修業年限3年の短期大学の課程として、新たな時代に相応しい幼児教育者を養成することを目的としています。これにより、本学の設置者である学校法人三浦学園が長年にわたり取り組んで来た幼児教育（幼稚園教諭及び保育士の養成）の伝統を生かしつつ、幼児教育に対する高度化・複雑化する社会的要請に積極的に応えようとするものです。

また、芸術教養については、同じく当法人における明治以来の音楽教育の伝統を生かしながら、音楽・舞踊・演劇というパーフォーミング・アーツ（舞台芸術）を中心に、西洋とともに特に日本の伝統的な音楽・舞踊・演劇というパーフォーミング・アーツに関する教養の修得をめざす、修業年限2年の「芸術教養学科」を設置しました。

これら2学科を設置することは、本学の教育研究における基本的なねらいとして冒頭に掲げた、人々とのふれあいを通じて社会生活の質の向上を支援する人材を養成する上で、後述のように相互にその利点を活用しつつ補強し合えるものでなければならぬと考えています。